

平成29年度 第2回手上げ型交付金 採択事業一覧

番号	要望額	減額	査定額	事業名	組織名	事業内容	採択
1	878千円	0千円	878千円	溪筋地区環境美化事業	溪筋地域づくり検討委員会	豊かな自然環境を守り、便利な生活環境を整え、地域と共同できるボランティア精神を培うために、溪筋地区の豊かな自然環境を美化する。一つの事業を行うことにより、地域に生き、お互いが支えあえる地域を築く。	○
2	2,071千円	216千円	1,855千円	野福峠の桜並木保存計画	俵津スマイル～いいまちづくり隊～	愛媛八勝十二景に選定されている野福峠も老木(70年以上を過ぎた)が多く、テングス病や道路改良による伐採によりその数が減少傾向にある。その地域の財産である景観を将来にわたって守り続けるため、桜並木の保全活動を行う。	○
3	560千円	0千円	560千円	アラサースマイル Season1	俵津スマイル～いいまちづくり隊～	現在の地域づくりの役員の年齢層は団塊の世代を中心としており、今後持続可能な地域づくり活動とするため、次代を担う若い世代の人財確保と育成する。(ワークショップ、講演会、イベント企画運営を実施)	○
4	1,820千円	査定中	0千円	横林交流拠点施設整備事業	横林自治振興協議会	交流拠点施設(地域コミュニティカフェ)を中心とし、「観光・交流」、「情報発信」、「コミュニティ」、「生涯学習」、「地域経済活性化」、「定住モデル」など各事業を展開し、交流拠点施設を中心とした、新たな地域づくりを展開していく。	○
5	785千円	0千円	785千円	“花”で結ばれる地域の絆	中川地区団体連絡協議会	花を育て・活かすことで地域住民の交流の場や学びの場を設け、花という一つのテーマでつながる地域づくりを目指す。	○
6	1,102千円	0千円	1,102千円	地域防災計画作成事業	下泊地域づくり振興会	東日本大震災を受けてなお、近い将来起こりうる巨大地震災害に対する防災意識が低いと言える下泊地域住民の意識を改革するため、防災リーダーを育て、住民参画の地域防災計画を策定し、防災訓練等を実施することで地域の防災意識の向上と共に地域の実践力を養う。	○
7	1,123千円	0千円	1,123千円	伊賀上ロマンの里づくり会	宇和地域づくり協議会	自然環境を守ろうと耕作放棄地をビオトープへ変化させ、農業体験や収穫祭の催しを開催することで地域住民や近隣地域住民との交流を深め地域の連帯感を強化する。また、住民の憩いの場を設け、地域コミュニティを活性化させる。	○
8	493千円	0千円	493千円	鬼窪地域再生計画	宇和地域づくり協議会	「環境整備」「防災事業」「地域の伝承事業」を三本柱として、魅力ある地域づくりを目指すため、若者から高齢者まで世代間交流を活発化し、人材育成や各種団体の組織強化を図る。	○
9	1,000千円	0千円	1,000千円	遊子川地域移住促進事業	遊子川地域活性化プロジェクトチーム	地域課題である人口減少に歯止めをかけるべく、就農を目指した地域おこし協力隊の募集PRを移住フェアへの参加やSNS情報発信、PR動画作成等と通じて行う。	○
10	1,000千円	500千円	500千円	しろかわっ子夢大賞	城川地区地域づくり4地区協働	城川町内の小学生以下の子供たちを対象に「夢」を募集し、審査により選ばれた「夢」を夢大賞として地域の力で実現する。町内4つの地域づくりが連携して事業を実施することで組織及び関係者の交流だけでなく、小中学生の事業参画による人材育成を図る。	○
11	2,265千円	2,265千円	0千円	今です！つながるふるさと「消滅しない集落」創生事業	魚成地域振興会	急速に進行する過疎化により、薄れゆく郷土の魅力を再認識させ「住み続けたい、帰って住みたい、住んでみたい」という想いを実現するため、地域資源を活用したジオサイト(鳴滝)を核としたソフト・ハード整備(東屋の整備)を行う。	○
12	1,569千円	0千円	1,569千円	和太鼓による元気なふるさとづくり(笑顔で暮らせる地域づくり)事業	魚成地域振興会	これまで伝統文化を継承し、地域の活性化に貢献してきた「奥伊予太鼓保存会」も後継者育成に不安を抱えている昨今。市内外の太鼓集団との共演する場を設けることで、地域の人々に太鼓の文化の素晴らしさを再認識することと共に今後、生きた伝統文化を継承し、地域の繋がりをより一層深化させる。	○
13	535千円	0千円	535千円	大和田防災意識向上事業	大和田地区むらおこし会	大和田地区納涼祭と同日に避難訓練を実施し、一時避難場所である地区集会所に避難した後、旧大和田小学校グラウンドに避難する。また、納涼祭のイベントの一つとしてブースの設置や炊き出し訓練を行い、地域住民に「防災」に触れる機会を作る。納涼祭と一緒にすることで参加しやすい環境を作る。	○
14	2,731千円	0千円	2,731千円	中筋地区を知らしめる事業	中筋地区自治振興会	地域住民の「無いものはない(諦め)」から「無いものは無い(全てある:世界一もある)」への意識変換。「何もないから何でもできる」へ。世界一の大門松を若者男女地区民全員で作り、自分たちで作った「世界一」が中筋にあることで、地区住民の地域愛を深め、イベントを開催することにより、次期リーダーの育成を図る。	○
15	1,200千円	213千円	987千円	有機農業促進による地域経済活性化と人材育成	野村地域自治振興協議会	地域経済を支えていた農業も高齢化が進み、就労者も減少し、耕作放棄地も増えている。次世代の就労者が地域で経済を成り立たせていくために「選ばれる稼げる有機農業」を提唱し、若者の休日の営農就労なども支援。担い手育成後は指導者となり、地域の就農者を人材育成すると共に、特産品開発なども行う。	○
16	1,587千円	140千円	1,447千円	共に創る。まちづくりゲストハウス	野村地域自治振興協議会	野村地域においては、若者の流出が顕著になり、高齢化に拍車がかかっている。そういった中で、都会から人材を呼び込むため、短期的に移住も体験できるゲストハウスを設置。また、ゲストハウスができるまでのプロセスを(地域住民)(移住人材)(交流人材)と共有し共創することにより、よりよい地域づくりの機会を作る。	○
17	3,000千円	3,000千円	0千円	Kitchen Nomura	野村地域自治振興協議会	地元食材(猪肉・野菜)を通してキッチンカーを活用した地域PR、若者(高校生)のローカルビジネス体験し、自身の得意の発見や職の選択のアイテムとしての活用。買い物弱者への食事の宅配を行う。	○
	23,719千円	6,334千円	15,565千円				